

# ① “世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学” 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## 1. 弘前大学の理念

弘前大学は、教育基本法の本質にのっとり、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、人類文化に貢献しうる教養識見を備えた人格者の育成をもって目的とする。

## 2. 弘前大学の教育目標

弘前大学は、自ら課題を探究する能力を有する自立的な社会人と高度の専門的職業人として国内外で先導的に活躍する人材の育成を目標とする。

## 3. 弘前大学が求める学生像

弘前大学の理念と教育目標に共感する次のような学生を求める。

- (1) 知的好奇心が旺盛で、チャレンジ精神を持つ人
- (2) 自主的・主体的に行動し、実践的能力を持つ人
- (3) 国際社会の発展に貢献する強い意志とリーダーシップを持つ人
- (4) 創造性と応用力に富み、地域社会の活性化に取り組む志を持つ人

## 4. 各学部のアドミッション・ポリシー

### <人文学部>

弘前大学人文学部は、人間の文化や社会に関する有形無形の知的財産を継承し、より豊かに発展させることを理念に掲げています。幅広い教養と専門的知識をあわせ持ち、人間と社会が抱える問題を解決できる人材の育成を目標としています。

本学部の教育は、少人数ゼミナールと多彩な実習を基幹とする「課程制」を特徴としています。人間と社会が抱える問題には、さまざまな学問領域が関係しています。ゼミナールや実習を通して専門的知識を深める一方、多彩な学問領域にも触れることで広い視野から問題をとらえる能力を身につけることができます。

本学部の求める学生は、人間や社会が抱えるさまざまな困難に目を向ける人、自ら考えることの大切さを知る人、自分の考えを伝えるための努力を惜しまない人です。さらに、各課程では、専門性の違いから次のような学生を求めています。

### ◎人間文化課程

- ・文化財を対象に、人間や社会の多様なあり方を考えたい人
- ・哲学的な探求を通して、「人間とは何か」を考えたい人
- ・文学や歴史などの視点から、日本を含むアジア世界について考えたい人
- ・欧米言語を正確に学び、欧米の歴史や文学について考えたい人

### ◎現代社会課程

- ・外国語を実践的に使いこなす、国際的な課題について考えたい人
- ・フィールドワークを通して、人間の活動や地域社会について考えたい人
- ・法的素養と思考力を生かし、現代社会の法律・政治問題を考えたい人

### ◎経済経営課程

- ・経済の歴史や経済学の理論を学び、社会のあるべき姿を考えたい人

- ・経営学・会計学に関する知識にもとづき、企業活動における課題や問題を考えたい人
- ・情報処理や統計学の知識を活用し、社会経済現象を計量的に考えたい人

## 高等学校で学んでおくべきこと・取得が望ましい資格

どの課程で学ぶとしても、高等学校で学ぶ科目はすべて重要であり、受験科目以外の教科も、十分勉強しておいて欲しいと考えています。ただし、人文学部で学ぶために必要な基礎学力として、特に、国語（現代国語、古文、漢文、国語表現などを広く）、外国語（英語、独語、仏語、中国語、韓国語などのいずれか）、数学、社会（世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政経などを広く）、情報などの科目を、十分勉強してください。

また可能であれば、語学検定資格（実用英語技能検定2級など）の取得にも挑戦してください。

## ＜教育学部＞

教育学部では、専門的な知識・技能を習得して、学習者を支援することのできる専門家の養成を目指しています。学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程では、児童生徒の学習と健康を支援する学校教員の養成を、生涯教育課程では、児童生徒の学校外での学習及び社会人の学習・文化・スポーツ活動を支援する教育専門職員の養成を行っています。したがって、子どもや社会人の学習活動に強い関心を持ち、学校の教員や生涯学習の支援・指導者などとして働くことを志す、豊かな人間性と確かな学力を兼ね備えた意欲的な学生を求めます。

そこで、大学入試センター試験では「教育プロフェッショナル」を目指すものとして必要な幅広い教科・科目にわたる基礎学力を評価し、一方、個別学力検査では「教育プロフェッショナル」となり得るために重要な各課程・専攻に関する専門的学力や資質を評価します。

各課程・専攻のアドミッション・ポリシーは次のとおりです。

## ◎学校教育教員養成課程

### （学校教育専攻）

学校教育専攻は、教育科学、発達心理、幼児教育の三専修から成り立ち、教育に関わる専門的な分野を学習することによって教科にとらわれない学校教育のスペシャリストを目指します。

学校の教員は、国語や数学などの教科を指導するだけではなく、総合的な学習、道徳、生徒指導、特別活動などの教育活動を担当しています。そのため、教員になるためには教育科学、発達心理、幼児教育などの優れた専門的見識が求められています。学校教育専攻は、主にこうした教育諸科学を中心に学ぶことによって、幼稚園・小学校・中学校・高校など、将来どのような学校の教員になっていくためにも必要な資質を身につけ、深めていくことを目的としています。

大学入学までに、文系・理系に偏らず、幅広く教科・科目を学習しておくことが望まれます。

### （教科教育専攻）

教科教育専攻では、自らが所属する「専修」において専門の教科の学習を深めながら、様々な教科にまたがる幅広い教育実践力を持った小学校教員の養成と、専門とする教科についての優れた教育指導力を持った中学校教員の養成を目指します。

そこで、児童生徒の成長に関わることにやりがいと使命感を感じ、小学校教員として得意教科を中心にした十分な教育実践力を身につけようとする意欲をもつ人や、中学校教員として専門とする教材に関する研究能力と十分な教育指導力を身につけようとする意欲をもつ人を求めます。

大学入学までに、小学校教員をめざす人は文系・理系に偏らず、幅広く全教科・科目を学習しておくことが望まれ、また中学校教員を志望する人は、それぞれの専門に関係するより多くの教科・科目を学習しておくことが望まれます。

## (特別支援教育専攻)

様々な障害のある児童・生徒に対する教育は、特別支援教育として、学校教育全体の課題となり、ますます重要視されていきます。障害に関し、教育、福祉、心理、病理など、多方面から取り組む意欲をもつ学生を求めます。

## ◎養護教諭養成課程

専門職としての社会的責任を自覚し、その活動に必要な研究・研修を自ら進んで行うことのできる養護教諭の養成を目指します。そのため、「養護教諭になりたい」という強い意志を持ち、学習・研究意欲が高く、努力を惜しまない人を求めます。すなわち、子どもたちの「健康問題に高い関心」をもっており、子どもたちに「生涯を通して、生命を大切にし、自らの健康を守り高めていける力を育てたい」と願う人です。

養護教諭は、児童生徒、教職員他、様々な人々とコミュニケーションをとりながら、合理的、実践的な科学的思考に基づき、子ども自らが心身の健康問題を解決していけるよう支援していきます。したがって、大学入学までに、幅広い教科・科目を学習しておくことが望まれます。

## ◎生涯教育課程

人間の学習は一生涯のものであり、学習すべき領域は広範にわたります。本課程では、健康生活、芸術文化、地域生活の分野で生涯学習を支えていこうという意欲をもつ学生を求めます。大学入学までに、それぞれの専攻に関係する多くの教科・科目を学習しておくことが望まれます。

### (健康生活専攻)

健康の大切さと生涯にわたる体力の維持の重要性を理解し、今後の社会における人々の健康維持増進活動（定期的な運動・スポーツ実施を含む）に対する関心を持ち、高齢者や障害者をも含んだ多くの人々の健康維持増進のための実践活動を支援する運動・スポーツ技能等を学習する意欲をもつ学生を求めます。

### (芸術文化専攻)

人間・社会に対する幅広い関心の上に、芸術、思想、哲学、文学または芸能、文化遺産などに深い興味をもつか、あるいは音楽、美術等に関する技能を有している、積極的な意欲をもつ学生を求めます。

### (地域生活専攻)

地域の活性化と地域住民の生活の質の向上に貢献できる実践的な能力をもつ人材を養成するという観点から、生活者の視点での生活環境に関わる諸問題に関心意欲をもつ学生を求めます。

## <医学部医学科>

入学者は医学教育に対応し、自ら能力を向上させることが重要です。したがって、以下の資質をもつ人材を求めています。

- (1) 将来医師として医療に貢献したいという明確な目的意識を持っている。
- (2) 何事にも意欲的に取り組むことができる。
- (3) 他人を思いやるやさしさと社会性がある。
- (4) 医学教育を受けるに十分な学力があり、生命現象に対し強い好奇心を持っている。

このためには、理系科目はもちろん文系科目や英語もしっかり履修し、応用力を伴った学力を身につけてください。

## <医学部保健学科>

医学部保健学科では、国民の健康と福祉に貢献できる医療従事者を育成するために、次のような資質を持った人を求めています。

- I. 保健学を学ぶことに対して、しっかりとした目的意識と旺盛な探究心を持っている人
  - II. 人間に対する深い思いやりの心と優れた学習能力を備えている人
  - III. 他人との協力・協調の基に、未解決の課題に創造的に取り組める人
- 各専攻が「高等学校で学んできて欲しい」と考える履修科目等は、次のとおりです。

### ◎看護学専攻

看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えていること、特に人間理解やコミュニケーション能力にかかわる、国語、英語を意欲的に学んでいることが望ましい。

### ◎放射線技術科学専攻

理科については、全般的な基礎知識を習得していることが望ましい。

### ◎検査技術科学専攻

理科の基礎知識を習得していることが望ましい。

### ◎理学療法学専攻

理科については、全般的な基礎知識を習得していることが望ましい。

### ◎作業療法学専攻

人間に対する豊かな興味・関心を有していることが望ましい。また、生体の理解や作業分析に必要な生物、物理等の理科の基礎知識を習得していることが望ましい。

## <理工学部>

興味を持つこと、「なぜだろう」と思う心、これが科学の原点です。その対象は幅広く、各学科では次のような学生を求めます。

### ◎数理科学科

高校の教科全般の基礎学力をもち、高校数学については概念や法則を良く理解しているうえに推論と計算の確かな力をもっている。しかも数理科学へ強い興味を抱き探究心が盛んである。そして豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって世に出ようと欲している人

### ◎物理科学科

電子や陽子などの極微粒子のミクロな世界から広大な宇宙の世界までを統一的に支配している自然の基本原理を探求する物理科学の最前線に興味を持ち、および、先端物理学の社会への還元を目指した工学への応用に意欲を持ち、普通高校においては「物理Ⅰ、Ⅱ」、工業高校においては「物理Ⅰ」を履修した人

### ◎物質創成化学科

本学科で開講される化学系基礎科目を中心としたカリキュラムを体系的に所定の期間に理解・習得するに必要な、自然系基礎科目（特に化学）の内容を習得し、論理的思考力および文章力を備えている人

### ◎地球環境学科

自然科学の基礎的な学力を有し、宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山などを対象とした地球科学に興味を持ち学習意欲がある人、また、地球科学を通して地球環境・災害・エネルギー資源などの人類が直面する問題について深く学びたい人

### ◎電子情報工学科

エレクトロニクス、情報、通信、コンピュータ、マルチメディアを融合した新しい技術やシステムの創生と高度情報化社会の推進の基礎となる理数系の科目を履修した人、または総合的な基礎学力を備えた人

## ◎知能機械工学科

医療・福祉や環境・エネルギー，航空宇宙，ロボット，ナノテクノロジーなどの科学技術分野で使用される「知能を持った未来型機械システム」の設計，開発を行う技術者・研究者を目指している人

## ＜農学生命科学部＞

自然と人間の調和のある発展をはかることが，21世紀における農学ならびに生命科学に課せられた最重要課題です。本学部では，次のような学生を求めています。

1. 農学ならびに生命科学の各分野において，基礎から応用までの幅広い学問を身につけ，地域社会の発展に貢献する意欲のある人
  2. 国際社会において活躍する意欲と熱意のある人
  3. 高等学校で履修する科目全般についての基礎を十分理解している人
- なお，各学科のアドミッション・ポリシーは次のとおりです。

## ◎生物学科

- (1) 動植物の生命現象の解析を通じて，生物の基礎的現象のしくみの解明に意欲のある人
- (2) 生物の生態や分類に興味を持ち，生物が持つ多様性，適応戦略，進化のメカニズムの解明に意欲のある人

## ◎分子生命科学科

- (1) 生命現象の不思議や未知の生物機能について，細胞レベル・遺伝子レベル・分子レベル・原子レベルで解明していく意欲のある人
- (2) 生物のもつ潜在能力を掘り起こすことを通じて，次世代のバイオテクノロジーを創り出していく意欲のある人

## ◎生物資源学科

- (1) 植物バイオテクノロジーや食品科学的手法による生物資源の機能解析を通じて，食料資源の機能開発に意欲のある人
- (2) 多様な昆虫・微生物の相互作用などの生産環境の特性を明らかにし，生物生産の環境的課題解決に意欲のある人

## ◎園芸農学科

- (1) 自然と調和する農業生産のあり方や新しい食料資源の開発と利用に意欲のある人
- (2) 経済システムの立場から，農業をめぐる諸問題の解決に意欲のある人

## ◎地域環境工学科

- (1) 農山村の自然空間を重視した生物の生存環境の維持・保全，地域社会のあり方などの問題解決に意欲のある人
- (2) 土や水に関する農業土木技術を生かし，農業生産基盤の整備や地域づくりに意欲のある人